

令和3年度進行管理・評価シート
湯前町 歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）
（最終変更 平成31年3月5日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 事業推進のための体制整備等	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画と景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物の維持保全に関する事業	3
2 伝統を反映した人々の活動に関する事業	7
3 まちなみと景観形成に関する事業	8
4 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業	10
5 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 報道の状況	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 その他(効果等)	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	湯前町-1
--------------------------------	-------	-------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
<input type="checkbox"/> 事業推進のための体制整備 <input type="checkbox"/> 歴史的風致維持向上協議会の開催 <input type="checkbox"/> 関係団体等との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
○ まちづくり関連課と文化財関連課が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ本計画の総合的かつ効果的な進捗を図る計画に記載している内容 ○ 湯前町歴史的風致維持向上協議会は計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議を行うとともに、湯前町文化財保護委員会等とも協議を行い計画を推進していく。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<input type="checkbox"/> 関係各課及び町政推進プロジェクトチーム(歴史まちづくり)での協議と併せ、計画内容の進捗状況確認や関連事業の協議・調整を随時行った。 <input type="checkbox"/> 湯前町歴史的風致維持向上協議会において、計画内容の進捗状況確認、中間評価の審議並びに街なみ環境整備事業計画等の個別事業の検討を実施した。(計3回実施)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き、庁内関係課の連携体制を確立し協議会等との連携を推進する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 歴史まちづくりの実施体制</p> <pre> graph LR subgraph Town [湯前町] EC[湯前町教育委員会] subgraph Office [事務局] PT[湯前町町政推進 PT (歴史まちづくり)] end subgraph Divisions [庁内関係課] P[企画観光課・教育課] A[農林振興課・建設水道課] end end subgraph Committees [協議会等] C[湯前町文化財保護委員会] H[湯前町歴史的風致維持向上協議会] V[湯前町人口ビジョン 総合戦略策定委員会 ※] end Town -- 報告・意見 --> C Town -- 報告 --> H Divisions <--> 協議 H H -- 報告・意見 --> V C --- 連携 H H --- 連携 V </pre>			
<p>■ 湯前町歴史的風致維持向上協議会の開催(令和3年度分)</p> <p>【6/16～6/30 通常総会書面決議・第1回協議会】</p> <p>【9/26 第2協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下里御大師堂修理事業について ・下町橋補修事業について ・計画の中間評価について <p>【2/18】 第3回協議会 中間評価・進捗管理評価の書面審議(パブコメ前) (中間評価パブリックコメント結果の報告)</p>			
			庁内会議の実施状況
<p>■ 庁内プロジェクトチーム会議等</p> <p>【9/1～9/10】 進捗評価・中間評価に係る計画搭載事業の進捗状況確認【電子会議】</p> <p>【12/21】 中間評価に係る担当者会議</p> <p>【2/18】 中間評価・進捗管理評価関係担当者会議</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和3年度
項目	現在の状況	
<input type="radio"/> 都市計画 <input type="radio"/> 景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

○ 本町は都市計画区域を指定しておらず、今後は住民等へのまちづくりへの普及・啓発を図りながら、地域の実情に応じた土地利用の規制導入に関する検討を行い歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を図っていく。

○ 本町は全域が熊本県景観計画区域に含まれ規制区域となっており、重点区域内では、国道219号の沿線が特定施設届出地区となっている。また、国道219号及び388号の沿線が、熊本県屋外広告物条例の第3種禁止区域となっている。本計画期間内に景観行政団体への移行と景観計画の策定に向けた検討を行っていくこととし、屋外広告物に係る条例等も併せて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 景観行政団体への移行 ……検討段階
- 景観計画の策定 ……検討段階
- 屋外広告物に係る条例等の制定 ……検討段階

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

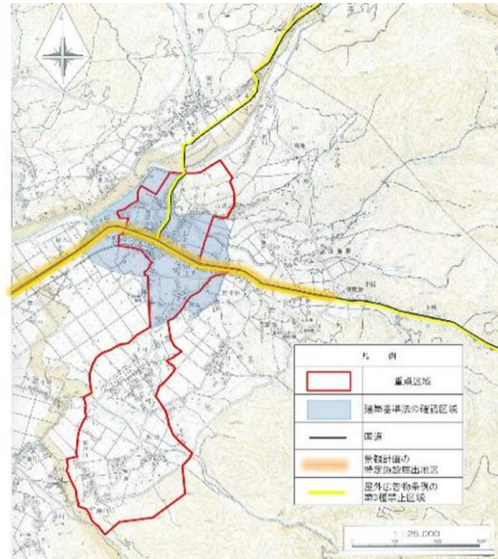
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和元年度の庁内課長会議において、令和8年度までの景観行政団体移行及び景観計画策定の方針決定をしている。熊本県と実務者協議を行い、広域での景観基本方針策定を県で実施し、域内町村で景観行政推進に取り組むこととしている。

状況を示す写真や資料等

令和2年7月豪雨により町内各所で山腹崩壊や土砂流出等の災害が発生したが、応急措置により道路交通は復旧している。歴史的風致形成建造物に大きな被害はなかったが、重点区域内に位置するくまがわ鉄道は、沿線の災害により未だ一部区間不通となっている。

令和3年度は道路河川・治山林道等の本格的な災害復旧事業が進められ重点区域の景観も復旧が進んでいる。



重点区域と規制区域図



重点区域内の災害状況(河川)



災害復旧状況(河川)



重点区域内の災害状況(道路)



災害復旧状況(道路)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ① 明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修繕事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和元年度			
支援事業名 町単独事業			
計画に記載している内容	明導寺阿弥陀堂は平成21年度に茅葺き屋根の修繕を行ったが、近年の気象変動や茅素材そのものの性質変化、樹木等の周辺環境の影響で、部分劣化が著しく進行していることから、修繕を行う。また、熊本地震で損壊した九重石塔も修繕と耐震対策の検討を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 明導寺阿弥陀堂の適切な保存 … 茅葺き屋根の修繕及び周辺樹木の管理について庁内及び文化財保護委員会、法定協議会で検討を行った。屋根に生えていたヤドリギや幼木を除去した。 ○ 明導寺(城泉寺)七重石塔の適切な保全 … 令和元年度に九重石塔と共に3D計測を行いデジタルアーカイブ化。 ○ 明導寺(城泉寺)九重石塔の適切な保全 … 令和元年度に平成28年熊本地震で損傷した石塔の修繕を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度は文化庁の巡回相談を受け、建造物保存活用計画の策定と防災防犯設備の改修等に関する指導を受け、今後の検討課題とした。また、茅葺改修事業の検討も行った。		
状況を示す写真や資料等			
			
明導寺阿弥陀堂			
			
敷地内の九重石塔ほか			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ② 御大師堂修繕事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
御大師堂は県が指定する文化財であり茅葺き屋根の堂宇である。この茅葺き屋根は平成16年に地域住民の参画のもと修繕がなされているが、10年以上経過し全体的に劣化が進行しているため、歴史的風致形成建造物に指定し修繕を行う。また、隣接する休憩所の改築や公園施設など一体的な周辺整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 御大師堂の適切な保全・○ 御大師堂の周辺整備
令和元年度より街なみ環境整備事業を活用し、文化財建造物専門業者により大師堂保存修理工事に向けた基礎調査と設計業務を行った。併せて有識者を交えた保存修理協議を行い、全解体修復をする方針が決定した。また、地区対象に発掘調査と建物調査の現地説明を実施した。令和3年度は御大師堂保存修理工事に本体工事に着手し解体修理工事の見学会も開催した。また、令和3年度は堂内の木造弘法大師坐像の修理事業に、所有管理者の下里地区が熊本県補助事業等を活用して取り組みを始めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
歴史的風致形成建造物の保存修理事業においては、詳細な調査や多岐の検討を必要とし事業期間が計画時点より長期化している。下里御大師堂保存修理事業は令和4年度まで続く見込となっている。



下里御大師堂保存修理工事の進捗状況



修理工事見学会の状況



熊本県指定文化財 木造弘法大師坐像

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ③ 湯前町歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき、指定を行った建造物において、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要と認められる改修等の支援を行う。また、住居等で耐震診断や耐震改修の必要な建造物は耐震対策も併せて支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 歴史的風致形成建造物の保全
- 令和3年度末時点指定箇所数 2件(下里御大師堂・下町橋)
- 下町橋補修事業は社会資本整備総合交付金を活用し令和2年度に補修設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

下町橋は明治39年架設の石造単一アーチ橋で町道橋梁として供用されており、町指定文化財となっている。道路法に基づく定期点検で修繕が必要と判定され、平成30年度は国土交通省九州地方整備局、熊本県、熊本大学の協力を得て合同現地調査を実施し、令和元年度は橋梁周辺の伐開作業を実施した。石造橋の修繕に向け令和元年度繰越事業で詳細設計を実施し、令和4年度に修理工事を実施することとしている。



下町橋



専門家調査の状況(2019.1月)



補修設計に伴う詳細調査写真

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ④ 幸野溝周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 幸野溝は世界かんがい遺産の認定登録を受けており、今後とも適切な維持管理と地域用水の持つ多面的機能の維持増進、生活空間の質的向上等を図る必要がある。このことから、幸野溝の水路及び沿線道路の防草対策や植栽等を行うとともに、地域住民等一体となった維持・保全体制の構築を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 幸野溝施設の保全
 幸野溝施設の維持管理を適切に行いながら、世界かんがい遺産の研修として計49名を受け入れた。幸野溝の主目的である利水事業のため、幸野溝土地改良区が主体となり、受益者(農家等)と共に、清掃、点検、修理等の適切な維持管理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界かんがい遺産の認定登録を契機として、幸野溝の活用協議会が設立され、幸野溝土地改良区を主体として研修受入に取り組まれている。幸野溝疏水施設は適切に維持管理がなされている。
--	--



幸野溝

幸野溝土地改良区の活用活動等実績(R3)

- 研修受入
 - ・一般 49名
- その他
 - ・リーフレット配布



幸野溝(球磨川の旧取水堰)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

(2) 伝統を反映した人々の活動に関する事業 ⑤ 無形民俗文化財保存継承事業 ⑥ 地域伝統芸能等保存活用事業 ⑦ 郷土学習総合推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

事業期間 歴史的風致維持向上計画認定前～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
 ⑤ 太鼓踊りや棒踊りなどの無形民俗文化財の保存活動に取り組んでいる保存会等の活動を支援することで、長い歴史の中で保存継承されてきた遺産を後世に伝えようとするとともに、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛を育てていく。
 ⑥ 存続活動が低下し滅失が危惧される、記録の少ない無形の民俗文化財等(祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等)を映像等に記録・保存し、地域の歴史文化の伝承と情報発信を推進する。
 ⑦ 「歴史探訪講座」や小中学生の町内探検、民俗芸能学習授業など、生涯学習や総合学習等において、広く住民に郷土の歴史・文化・芸能等に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、住民の郷土に対する関心を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 例年は東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽などの伝統芸能の継承として、湯前中学校での総合学習を通じ指導や発表を行う。
- 無形民俗文化財等の記録保存と情報発信を図るため、湯前町ホームページでの動画配信等を行った。
- 例年は地域住民等の歴史文化に関する学習機会創出などの図るため、歴史探訪講座と日本遺産講座を開催。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和3年度は、中学校での伝統芸能継承活動、歴史探訪講座をコロナ対策を行った上で再開することができた。また、湯前町地域文化財振興補助金制度を創設し、歴史的建造物の保全や伝統活動の継承支援等を行った。また、ふるさと納税を財源として浅鹿野棒踊りの保存記録事業に着手した。

状況を示す写真や資料等

1 団体補助金の実績

- (1) 無形民俗文化財保存継承補助金 2団体 90千円(東方組太鼓踊り保存会・浅鹿野棒踊り保存会)
- (2) 地域文化財振興補助金(彼岸お接待活動補助等) 8件 206千円

2 記録映像のアクセス数

- (1) 町ホームページ伝統芸能ページのアクセス数 H30年度中 1,555件→R1年度中 2,267件
令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、アクセス数のカウントができなくなった。

3 歴史文化に関する総合学習、特別授業、中学校の伝承活動等の実績

- (1) 生涯学習歴史探訪講座 2回(H29・H30・R1・R3)
- (2) 日本遺産講座 3回(H29・H30・R1)
- (3) 小学校総合学習(文化財) 2回(H29) 3回(H30) 1回(R1)
- (4) 中学生への地域伝統芸能の継承活動 15回(H29・H30・R1・R3)
- (5) 中学生による地域伝統芸能の披露 2回(H29・H30・R1・R3)
- (6) 奥球磨セミナー 3回(H30・R1)(奥球磨の文化財、建造物、相良33観音めぐりに関するセミナー)

令和2年度はコロナ影響で全て中止

令和3年度再開は3項目



湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 東方組太鼓踊り



湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 浅鹿野棒踊り



湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 球磨神楽

湯前中学校伝統芸能継承活動紹介HP <https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album>

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
(3) まちなみと景観形成に関する事業 ⑧ 明導寺阿弥陀堂等周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
明導寺阿弥陀堂周辺は、八勝寺阿弥陀堂や宝陀寺観音堂といった歴史的建造物が集積しており、観光客等も増加している。近年は、観光バスでの来場者が増加しており、現在未舗装となっている駐車場やトイレ等の周辺施設の整備や、周辺竹林の適切な管理、歴史的建造物を結ぶ参道の整備など総合的な周辺整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

明導寺阿弥陀堂の周辺整備
 八勝寺阿弥陀堂の周辺整備
 宝陀寺観音堂の周辺整備

湯前町文化財保護委員会及び法定協議会等において、周辺樹木の管理等の検討を行った。明導寺阿弥陀堂周辺整備では令和3年度に駐車場へ公衆トイレを整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
旧東方村周辺の明導寺阿弥陀堂等の維持管理については、堂宇等建物や周辺の清掃など地域住民が主体となって取り組みをしている。宝陀寺観音堂の参道施設の老朽化といった課題もあり地域住民の高齢化や担い手減少も踏まえ、今後も地域住民等を交え引き続き検討を進める。

状況を示す写真や資料等



八勝寺阿弥陀堂周辺



馬場稲荷社周辺



宝陀寺観音堂周辺



宝陀寺観音堂の参道



宝陀寺観音堂の参道



宝陀寺観音堂 敷地内の墓地

利用しやすいトイレに
明導寺阿弥陀堂にトイレを新設

10月28日に「明導寺阿弥陀堂トイレ等整備工事」が完了。トイレを新たに駐車場に作り、休憩所にあったトイレは倉庫に改修、駐車場から明導寺阿弥陀堂(城泉寺)にかかる人道橋も改修しました。総事業は1499万6842円。企業局リニューアル交付金を活用しました。



汲取式トイレから水洗トイレに

明導寺阿弥陀堂駐車場に整備をした公衆トイレ

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
(3) まちなみと景観形成に関する事業 ⑨ 里宮通り他道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町中心部から市房山神宮里宮神社へ向かう、里宮通り、桜町通り等の道路は、観光列車の運行開始等も相まって、町外からの町歩き観光客等が増加しており、歴史的なまちなみを形成していくため道路美装化に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 道路空間を活用した住環境の整備
 ○ 住民満足度と歴史的建造物へのアクセス向上
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画策定の中で、事業対象路線沿道の建造物・景観・通行量調査等、地域住民等のワークショップ等を経て道路美装化事業構想を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路美装化は事業費が大きく、複数年度にわたり事業を行うため、他事業との調整や財源確保が課題となる。



中心市街地概要図



里宮通りイメージパース



桜町通りイメージパース



駅前通りイメージパース

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑩ 湯前まんが美術館改修事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 湯前まんが美術館は、本町の歴史文化を総合的に発信していく施設であり、文化財の収蔵も行い、美術館としての展示施設の機能も備えている。その機能や設備の拡充等を改修事業により進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 湯前まんが美術館の改修及び周辺整備等 …… 新型コロナ対策交付金を活用しエントランスの自動ドア化を実施した。
- 湯前まんが美術館等来場者数 …… 4,717人/年(H29)→9,434人/年(H30:対前年増4,717人)
3,084人/年(R1)⇒586人/年(R2)コロナ影響による大幅減⇒712人/年(R3)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

湯前まんが美術館の改修を含む改善センター等改修工事基本計画を平成29年度に策定したが、関係者団体との調整、事業財源の確保が課題となっている。令和3年度は新型コロナ対策としてエントランスの自動ドア化や券売機・空気清浄機などのコロナ対策事業を行った。

状況を示す写真や資料等



基本計画の周辺整備イメージ図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ① 湯前町歴史文化情報発信推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)

計画に記載している内容 歴史的風致維持向上計画の公表や湯前町歴史文化基本構想の策定等と併せ、湯前町広報、ホームページ等で歴史まちづくりに関する情報を重点的に掲載していき、住民参加型のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用や、シンポジウムの開催等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 湯前町HPでの計画等公表 … 湯前町歴史的風致維持向上計画及び湯前町歴史文化基本構想を公表している。
- 湯前町広報 … 平成29年度より「文化のタカラ」をシリーズとして連載し、平成30年度以降も歴史文化関連記事を掲載している。
- シンポジウム等の開催 … 令和3年度は開催実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定しているが、住民参加型の事業着手が未定となっており、区長会や観光案内人協会、生涯学習受講者等との合意形成を図り事業着手を行っていきたい。
--	---

状況を示す写真や資料等

令和3年度 湯前町歴史的風致維持向上計画関係

広報ゆのまえ掲載一覧

発行月	記事タイトル	サブタイトル・主な内容	備考
7	特集 災害復旧リポート 復旧までの歩み	まちの「いま」を伝えます。	
9	「薬師さん」と「やつおさん」	瀬戸口区	
12	紅葉と光がつくる幻想的な空間	里宮神社紅葉ライトアップ	
12	2年ぶりに伝統芸能を披露	湯前中学校文化祭	
12	利用しやすいトイレに	明導寺阿弥陀堂1トイレを新設	
記事数計	5		

～まちのあれこれ～

「薬師さん」と「やつおさん」

～瀬戸口区～

旧暦6月7日と14日にあたる日、瀬戸口公民館に記されている「薬師さん」と「やつおさん」というお祭りのお参りに地域住民が参ります。7日の参り合いを「薬師さん」、14日の参り合いを「やつおさん」と呼び、旧瀬戸口を2つに分けてそれぞれお参りし、お参りを供え、お参りに来た人々にもお参りします。
 盆を聞いた大石屋さん(87)が子どものころから参り合いはあって、始まりはいつか分からないというほど昔から続いています。子どもたちも集まるにぎやかな行事で「だごもらい」という呼び名でも親しまれているようです。



2年ぶりに伝統芸能を披露

湯前中学校文化祭
 湯前中学校文化祭(伝統芸能継承活動)記事

まちのあれこれ 記事



里宮神社ライトアップの記事



湯前中学校文化祭(伝統芸能継承活動)記事

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑫ 駅舎内湯前ギャラリー整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 町単独事業・地方創生拠点整備交付金・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)			
計画に記載している内容	歴史的価値の高い湯前駅舎は、今後とも景観を壊さないように維持していくことが重要となっており、観光列車田園シンフォニーを利用した観光客等に、本町の歴史文化を知っていただくため、駅舎内部の壁を利用して、資料館的な機能を持たせ、明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂、伝統芸能など本町を代表する歴史文化遺産を展示する空間整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前駅舎(国登録有形文化財)の保全と活用 … 庁内検討段階 平成30年度においては、駅周辺整備事業として、隣接する湯前駅レールウイング複合施設において老朽化したモニュメントの改修事業に取り組んだ。令和元年度は駅舎の多目的利用や集客力向上を図るため駅周辺のライトアップイベントや駅舎内にピアノを設置し、来訪者に自由使用をいただく駅ピアノ事業に取り組んだ。令和2年度は7月豪雨災によりまがわ鉄道施設が被災し事業が中断している。令和3年度は鉄道の一部区間開通があり駅の活用は再開している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年7月豪雨によりまがわ鉄道に大きな被害があり、現在鉄道は一部区間の開通となっている。当面は鉄道運航再開に向けた事業が行われるが、今後も湯前駅舎の所有・管理団体であるまがわ鉄道(株)との協議を行い歴史的資源の情報発信施設としての機能向上を図る。		
状況を示す写真や資料等			
			
くまがわ鉄道湯前駅本屋(駅舎入り口周辺)		くまがわ鉄道湯前駅本屋(駅舎内部)	
			
駅周辺ライトアップイベントの実施状況 ①		駅ピアノ事業の実施状況 ②	

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑬ 歴史文化利活用着地型観光事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂等の歴史文化遺産を観光資源として活用していくために、観光客の受け入れ先である本地域が、地域ならではの周遊プログラム等を企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光形態の推進を図るとともに、観光案内人をガイドとしてサービスを提供していく取り組みを構築する。本事業は、湯前町観光物産協会等を中心として関係事業との連携を図りながら推進を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

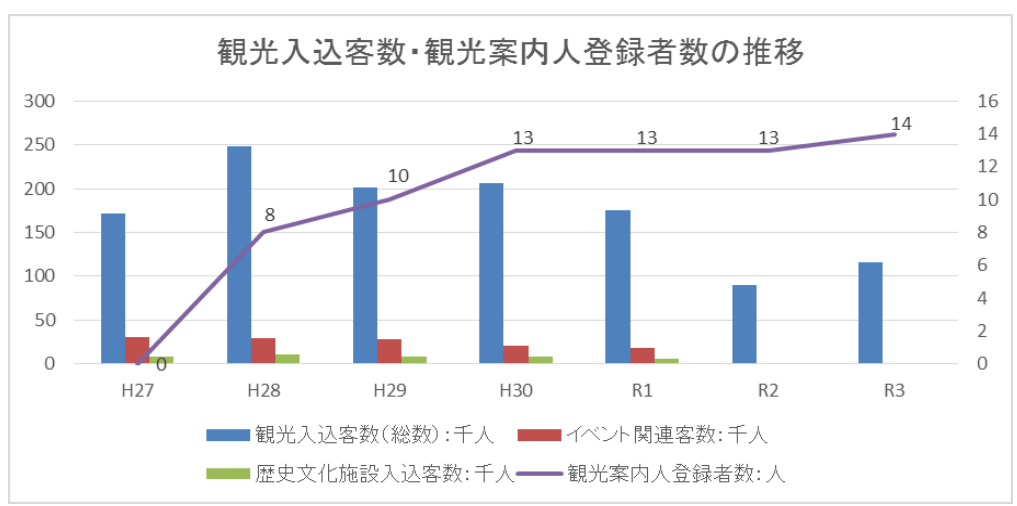
○ 観光入込客数(うち歴史文化関係施設の来場者数)
 175,194人(6,180人)(R1) → 90,840人(-)(R2) → **115,573人(R3)(未集計)**
 R3観光入込客数115,573人の内訳(日帰110,406人+宿泊5,167人)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による落ち込みから、回復傾向見られた。今後もWithコロナを念頭に観光振興と情報発信に力を入れ、早期の回復を図る。観光案内人登録者数は対前年+1名の増であった。
--	--

状況を示す写真や資料等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
観光入込客数(総数):千人	171.567	247.926	201.405	206.880	175.194	90.480	115.573
イベント関連客数:千人	30.007	29.697	28.628	20.135	18.026	0.000	未集計
歴史文化施設入込客数:千人	8.489	11.198	8.744	7.792	6.180	1.043	未集計
観光案内人登録者数:人	-	8	10	13	13	13	14



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑭ 案内看板統一化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容
歴史的建造物等を案内する看板について、これまで各種事業等により整備を行ってきたが、経年劣化が進み、表記方法や意匠の統一感がないため、多言語表示化も含め、人吉球磨日本遺産活用協議会との連携を図りながら、統一感のある案内看板等の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

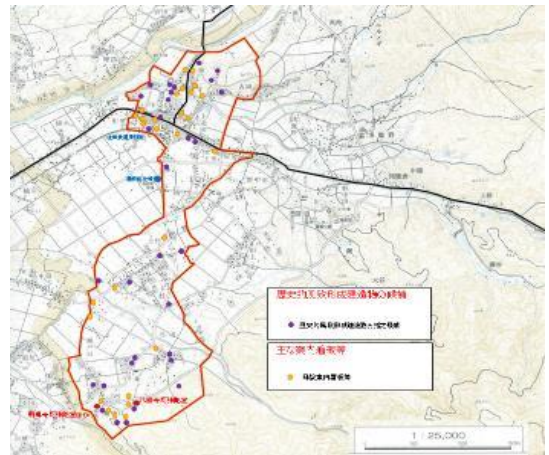
- 平成29年度時点の案内板箇所数 …… 29箇所
- 案内看板統一化事業で設置した箇所数 …… 2箇所【内評価対象年度の箇所数0箇所】(H30)
- 多言語表示の案内板箇所数 …… 3箇所

進捗状況 ※計画年次との対応







計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
平成30年度は街なみ環境整備事業計画の策定過程で、重点区域内の主な案内板等の基礎調査を実施した。令和3年度以降にサイン計画策定を予定していたが令和2年7月豪雨災害復旧事業の優先実施のため事業先送となっている。

状況を示す写真や資料等



歴史文化財形成建造物の候補
● 湯前町湯前町歴史文化財形成建造物候補
主な案内看板等
● 湯前町案内看板

全景	近景
	
	
	

重点区域内の国が指定する重要文化財及び歴史的風致形成建造物指定の候補と既設案内板等の位置図

全景	近景
	
	

案内板・解説板の基礎調査写真

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑮ 湯前町観光案内人育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 観光案内人養成講座を開催し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むことと併せ組織化を図り、観光案内人の育成を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 観光案内人の組織 … 1団体 13名(9個人+4団体=総数13名)
- 観光案内人の利用 … 1件/年 (14名)(R3) 定時ツアー1件15名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止等が多かった。
- Afterコロナへ向けた案内人協会の定例活動10回(R3)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光案内人の養成、質の高い案内が可能となるように個人のスキルアップが必要になる。また、持続的な活動のための組織体制の強化が必要になる。

状況を示す写真や資料等



定時ツアーの状況



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
(5) 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業 ⑯ 湯前町歴史文化基本構想等策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和2年度			
支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)			
計画に記載している内容	『湯前町の文化財』発行から10年以上が経過し、文化財全般にわたり、調査や台帳整備等が必要となっている。歴史文化基本構想の策定を中心として、歴史文化の振興とともに地域活性化を推進する。また、これらの情報はホームページ等での公開がこれまで行われていなかったため、情報発信を併せて推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<input type="checkbox"/> 湯前町歴史文化基本構想の策定 …… 平成29年度策定済 <input type="checkbox"/> 歴史文化関連情報の公開等 …… 令和3年度はデジタルミュージアム構想事業を新設し、文化財資源等のデジタルアーカイブに取り組んだ。			
」		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定、平成30年度は『湯前町の文化財』を300冊増補し文化財に対する普及資料として活用したが、湯前町HPでの公表は当該冊子を有料販売してきた経緯があり実施に至っていない。今後は、HP公表に向けて教育委員会、文化財保護委員会で検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前の文化財』</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前町歴史文化基本構想』</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前町歴史的風致維持向上計画』</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前の地名と文化財』</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前の古建築』</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>『湯前の石造文化財』</p> </div> </div>			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 指定又は未指定に関わらず、本町に残された文化財を確実に後世に伝えていくためには、文化財の保存だけでなく周辺環境や組織を含めた一体的な保存・管理・活用の運営を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財保護委員会の開催 … 2回/年
- 文化財管理人の設置 … 5箇所・5名
- 文化財施設の管理 … 3箇所(委託)
- 文化財の指定状況 … 令和3年度中の新規指定・解除はなし
- 湯前町歴史文化基本構想の策定 1件(H29)
- 文化財の防災・防犯 … 防犯カメラの設置2箇所(H30)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和2年度に町内2か所の文化財施設乗損事案が発生し、警察を交え調査を行った。今後とも防災・防犯体制の充実を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 1 湯前町文化財保護委員会の開催状況(令和3年度)
 - (1) 第1回文化財保護委員会(R3.6.21)
 - 文化財/パトロール
 - ・下里御大師堂修理事業について
 - ・下町橋修繕事業について
 - ・城泉寺トイレ等整備事業について
 - ・弘法大師坐像修理について
 - (2) 第2回文化財保護委員会(R4.2.25)
 - 文化財/パトロール
 - ・熊本県文化財保護活用大綱について
 - ・湯前町文化財振興補助金交付要項について
 - ・下里御大師堂保存修理事業について
 - ・木造弘法大師坐像修理事業について
 - ・下町橋修繕事業について
 - ・城泉寺トイレ等整備事業について
 - ・浅鹿野棒踊り保存記録事業につて
 - ・湯前中学校伝統芸能継承活動について
- 2 文化財施設管理人の設置状況
 - (1) 明導寺阿弥陀堂 1名
 - (2) 下里御大師堂 1名
 - (3) 宝陀寺観音堂 1名
- 3 文化財施設の管理委託状況
 - (1) 明導寺阿弥陀堂 地域活動補助事業へ移行
 - (2) 八勝寺阿弥陀堂 地域活動補助事業へ移行
 - (3) 下里御大師堂 地域活動補助事業へ移行
- 4 文化財調査
 - ・下里御大師堂修理工事に伴う調査
 - ・蛇ん谷湿原現地調査
 - ・浅鹿野棒踊りの保存記録(聞き取り調査・採譜・資料調査等)
- 5 文化財の周辺整備
 - ・明導寺阿弥陀堂駐車場トイレ整備工事
- 6 文化財防火デー(防災訓練)等の実施
 - ・コロナ影響により中止
- 7 民間団体への助成等
 - ・東方組太鼓踊り保存会、浅鹿野棒踊り保存会
- 8 歴史文化に関する総合学習等の開催実績
 - (1) 生涯学習歴史探訪講座 1回
 - (2) 日本遺産講座 中止
 - (3) 小学校総合学習(文化財) 中止
 - (4) 中学生による地域伝統芸能活動の伝承活動 再開
 - (5) 奥球磨セミナー 中止

区分		国指定	県指定	町指定	計
有形文化財	建造物	4	1	8	13
	絵画	0	0	1	1
	書跡	0	0	0	0
	典籍	0	0	0	0
	古文書	0	0	0	0
	彫刻	1	3	8	12
	工芸	0	1	5	6
	考古	0	0	0	0
	歴史資料	0	0	1	1
	無形文化財	0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	2	2
	無形民俗文化財	1	0	3	4
記念物	史跡	0	0	3	3
	名称	0	0	0	0
	天然記念物	0	0	3	3
文化的景観	0	0	0	0	
伝統的建造物群	0	0	0	0	
文化財の保存技術	0	0	0	0	
合計		6	5	34	45

国登録有形文化財	3
合計	3

湯前町指定文化財一覧表(令和2年度末時点)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
下記のとおりに記載			人吉新聞
			熊本日々新聞
			その他雑誌

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 歴史的風致に関連する報道 …… 人吉新聞及び熊本日々新聞等に掲載された記事数 14件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も積極的に情報発信を行っていく。

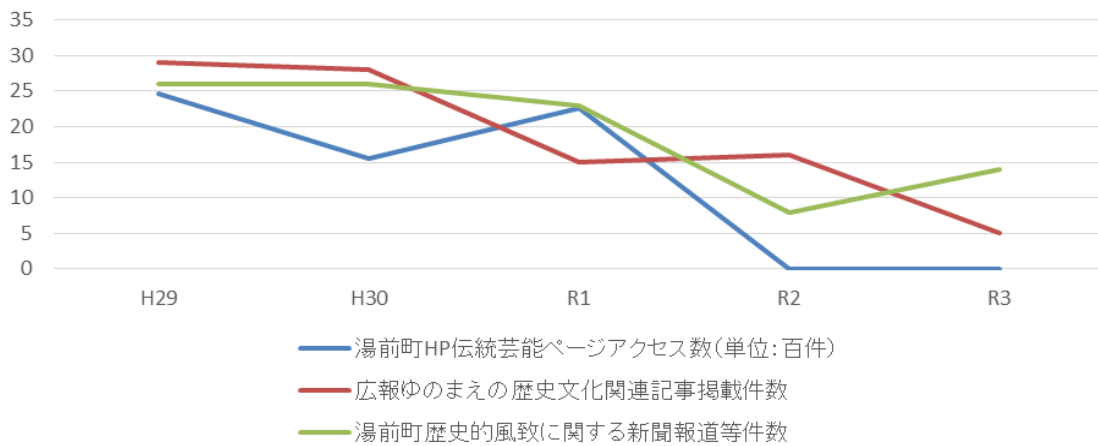
状況を示す写真や資料等

令和3年度 湯前町歴史的風致維持向上計画関係

新聞等報道一覧

掲載・発行日	掲載誌	題目	サブタイトル・主な内容	関連する歴史的風致			日本遺産認定 関連	備考
				里宮神社の祭 礼行事等	相良33観音の くり	幸野溝と球磨 焼酎		
6月	熊本日日新聞	昼ごはん食べよ	市房山里宮神社宮司の 地域紹介	○				
7月1日	人吉新聞	お堂の修理に興味津々	湯前町軟委御大師堂で見学会	○			下里御大師堂保存修理工事見学会	
8月10日	人吉新聞	春季全国酒造コンクール酒造44種入賞	「麦汁」7年連続最高位			○	豊水酒造	
9月4日	人吉新聞	湯前町林道海軍出身社氏が仕込み	軽巡洋艦「球磨」焼酎に			○	林酒造場	
9月3日	熊本日日新聞	県産酒フランス酔わせる	輸出の後押しに球磨焼酎4銘柄も受賞			○	豊水酒造・林酒造	
10月23日	人吉新聞	常庄豊永蔵プラチナ賞	フランスの品評会麦汁はゴールド			○	豊水酒造	
10月30日	人吉新聞	郷土芸能を学び継承	湯前中采月の文化祭で披露	○			球磨神楽・東方組太鼓踊・浅鹿野禊踊	
11月11日	熊本日日新聞	秋深く照紅葉	湯前町でライトアップ	○			市房山神宮里宮神社	
11月30日	人吉新聞	歩いて歴史と秋満喫	文化財訪ね紅葉楽しむ	○		○	市房山神宮里宮神社・林酒造	
12月28日	人吉新聞	来年の干支「寅」奉納	湯前町里宮神社 チェーンソーで彫刻	○			市房山神宮里宮神社	
12月30日	熊本日日新聞	木彫りの「寅」お目見え	湯前町里宮神社 チェーンソーで彫刻	○			市房山神宮里宮神社	
3月26日	人吉新聞	出水期前に合同点検	幸野溝水路橋とサイフォン			○		
12月29日	仏像列島P126【室島社】	日本のすごい仏像100	九州の隠れ・人吉球磨の仏像	○	○		明通寺阿弥陀堂・阿弥陀三尊像	
10月1日	一風A P25~31【KKベストセラーズ】	ふるさと遺産	ほとけの「隠れ里」人吉球磨	○	○		明通寺阿弥陀堂・下里御大師堂	
14				9	2	6	4	

歴史まちづくりに関する情報発信等件数



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

その他(効果等)

本計画は、本町の歴史・文化的資源の継承とこれらを活用したまちづくりの基本方針として、法律第4条に規定する「歴史的風致維持向上基本方針」に基づき策定するものであり、文化財保護行政とまちづくり行政が緊密に連携し、文化財の保存と活用、都市、景観政策による各種の措置を講じることにより、行政、地域住民、地域団体、企業などが一体となって、まちづくりに取り組むことを目的とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 地域住民等の意識 …… 文化財行政や歴史まちづくりに関するアンケート調査(アンケート調査は令和2年度実施)
- 観光入込客数等 …… 総入込客数 90,840人(R2) → 115,573人(R3)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

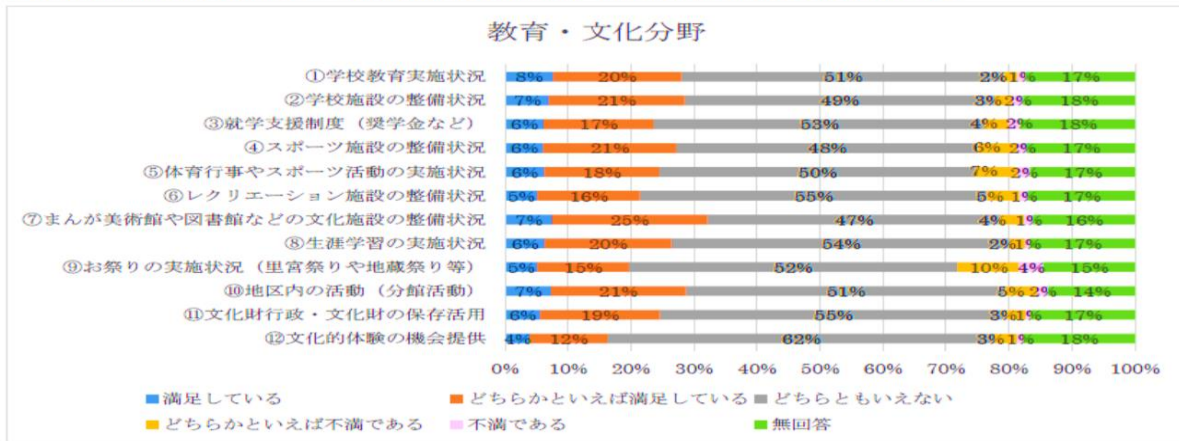
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画の事業の他、地域住民等による古民家の活用や、歴史的風致としていない祭礼行事、歴史ある建造物の恒常的な維持管理や修理などの取り組みがなされている。

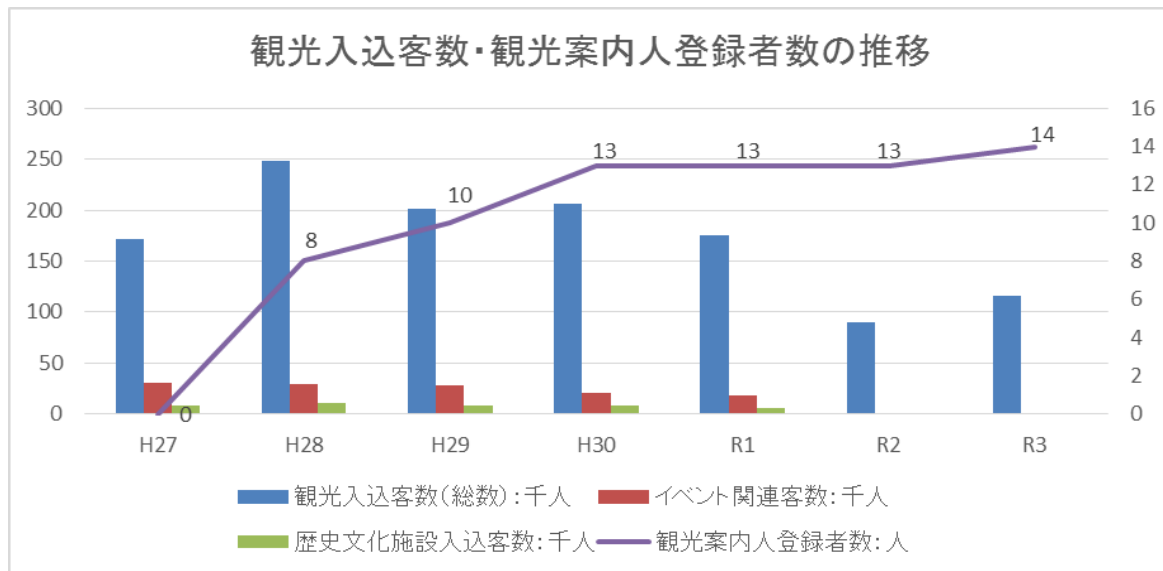
状況を示す写真や資料等

【教育・文化分野】

全体的に項目ごとの満足度の差が少なかったが、「⑦まんが美術館や図書館などの文化施設の整備状況」が32%と最も満足度が高く、「⑨お祭りの実施状況」の不満足度が14%と最も高かった。



湯前町観光入込客数の推移



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 湯前町歴史的風致維持向上協議会(令和3年度第3回協議会)	
会議等の開催日時: 令和4年2月18日(金) 書面審議【中間評価内容審議と合同審議】	
(コメントの概要)	
<p>1 有識者コメント</p> <p>○(溝下委員)今後、普門寺観音堂や宝陀寺観音堂なども形成建造物に指定して修理が望まれる。</p> <p>○(桂委員)民間の指定歴史的風致形成建造物については、具体的修復工事に至るまで、定期的な現況調査や意見交換会等を継続的に行うことで風致地区形成の意識が維持され続けることが重要である。</p> <p>○(桂委員)下町橋の補修工事においては、欄干部分をガードレールではなく原型の石造に近いかたちで復元することなど、工事費を勘案しながら検討することが望まれる。</p> <p>○(林委員)下町橋について、定期点検の結果は残念。現在通行止になっているが、歩いている人・自転車で通る人以外で困っている人はあまりいない様。道も狭いので人が通れる位の端にしたらいいのでは。</p> <p>2 今後の対応等</p> <p>普門寺観音堂と宝陀寺観音堂は歴史的風致形成建造物の指定候補となっている。R3年度に指定文化財の町補助要項を策定し、歴史的風致形成建造物の指定推進と財政面の調整、所有者(管理者)に対する制度説明等を図る。下町橋の補修については代替橋梁の架け替え等も検討したが、道路構造(線形)や経済比較等により現橋梁の補修が適切であると判断している。</p>	